

☆学校評価（アンケート）について

今年度も、3年生と6年生の子どもたちと保護者、学校評議員を対象に学校評価アンケート（子どもたち用は学校生活アンケート）を実施いたしました。ご回答いただきありがとうございました。

毎年3年生と6年生にアンケートをお願いしていることから、同一の子ども・保護者の回答の経年変化を追うという集計ではありません。また、対象となる子どもたちも担任も替わるため、単純に前年度との評価の割合を比較することもできません。

それらを踏まえて、結果や考察をお読みください。よろしく願いいたします。

◎子どもたち用アンケートについて

6年生用のアンケートです。3年生には、質問10のない9項目で、少しやさしい文にしています。回答は、Aすごく思う・B思う・Cあまり思わない・D思わないの4段階で、AとBは肯定的な回答、CとDは肯定的でない回答ととらえました。

- 1 学校生活は楽しいですか。
- 2 授業は、わかりやすいですか。
- 3 学校では、学校生活の中で、多くのことを体験することができますか。
- 4 保護者や地域の人といっしょに行う活動は楽しいですか。
- 5 あなたは、みんなと仲よく過ごすことができますか。
- 6 学校では、集団のルールを守ることができると思いますか。
- 7 先生たちは、いじめなどがないように皆のことを守ってくれていますか。
- 8 あなたは、安全に学校生活を送ることができますか。
- 9 学校の行事（運動会・富士見台まつり・遠足など）は楽しいですか。
- 10 あなたは、委員会や代表委員会等の活動に進んで取り組んでいますか。

○結果と考察

【1 学校生活は楽しいですか】

3年生で91%、6年生で98%の子どもたちが肯定的な回答をしています。どちらの学年も、昨年・一昨年に比べて高い回答率です。コロナ禍で、制限の多い学校生活でしたが、子どもたちなりに今の生活を楽しんでいることがうかがうことができます。

【2 授業は、わかりやすいですか】

3年生で92%、6年生で95%の子どもたちが肯定的な回答をしています。臨時休校による授業の遅れ・スピードアップによる理解不足が心配されましたが、子どもたちにとっては、分かりやすかったようです。

【3 学校では、学校生活の中で、多くのことを体験することができますか】

学校・学年行事が、次々と中止や縮小しての実施となってしまいました。3年生は、梨畑での活動や消防署などへの社会見学ができなかったこと、1月に予定していた遠足も中止になってしまったことなどからも影響してか、肯定的な回答をした子どもたちは77%にとどまりました。6年生も修学旅行は中止になってしまいましたが、ラストサマーフェスティバルやよみうりランドへの遠足、富士見台ユーチューブなど、代替行事・活動で充実感を得ることができたため98%の子どもたちが肯定的な回答をしています。学年によって違いがあるのは仕方ないですが、満足度の差が大きく出てしまいました。

【4 保護者や地域の人といっしょに行う活動は楽しいですか】

例年と比べて、一緒に活動する機会をほとんど持つことができませんでしたが、3年生で93%、6年生で94%の子どもたちが肯定的な回答をしています。

【5 あなたは、みんなと仲よく過ごすことができますか】

3年生で93%、6年生で94%の子どもたちが肯定的な回答をしています。3年生は昨年・一昨年と大差ないですが、6年生は学年の特長が出ていると考えられます。

【6 学校では、集団のルールを守ることができると思いますか】

3年生で88%、6年生で95%の子どもたちが肯定的な回答をしています。6年生に肯定的な回答が多かったです。

【7 先生たちは、いじめなどがないように皆のことを守ってくれていますか】

3年生で74%、6年生で86%の子どもたちが肯定的な回答をしています。他項目と比べると肯定的な回答率が低いです。昨年に続き3年生よりも6年生に肯定的な回答が多かったのが特徴的です。3年生は学級の人数が39人～41人と多かったこと、ギャングエイジという発達段階であることも要因として考えることができます。担任を中心としたフォローが足りないと感じている子どもが多かったと考えることができます。

【8 あなたは、安全に学校生活を送ることができますか】

3年生で74%、6年生で95%と肯定的な回答に差が開きました。3年生では、昨年・一昨年よりも大きく下がってしまいました。事故や天災への不安が、結果を大きく下げた一因であるとも考えています。

【9 学校の行事（運動会・富士見台まつり・遠足など）は楽しいですか】

行事が大きく変わってしまいましたが、3年生で97%、6年生で99%の子どもたちが肯定的な回答をしています。

【10 あなたは、委員会や代表委員会等の活動に進んで取り組んでいますか】

6年生の92%の子どもたちが肯定的な回答をしています。ほぼ昨年・一昨年と同じ傾向です。限られた中でもできることを見つけて活動していたことがよくわかります。

◎保護者アンケートについて

回答はAよくあてはまる・Bだいたいあてはまる・Cあまりあてはまらない・Dあてはまらない・Eわからないの5段階評価です。AとBは肯定的な回答、CとDは肯定的でない回答ととらえました。

- 1 子どもは、楽しく学校に通っている。
- 2 （授業をご覧になって）学校は、わかりやすい授業をめざして努力している。
- 3 学校は、教育の目標や指針を学校だよりなどでわかりやすく伝えている。
- 4 学校は、保護者の願いや子どもの実態、地域性にもとづいた教育活動を行っている。
- 5 学校は、学習の状況を“あゆみ”などにより適切に評価している。
- 6 学校は、子どものことについて面談等で保護者の相談に応じてくれる。
- 7 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。
- 8 学校は、パトロールや防犯教室などを通して安全や防犯に取り組んでいる。
- 9 学校は、学校・学年だより、ホームページなどを使って情報の発信に努めている。

○結果と考察

【1 子どもは、楽しく学校に通っている】

3年生で97%、6年生で94%の保護者が肯定的な回答をしています。子どもたちの回答と大きな差は見られませんでした。家庭でも子どもたちの様子をよく見てもらえていることがわかります。

【2 学校は、わかりやすい授業をめざして努力している】

3年生・6年生共にて97%保護者が肯定的な回答をしています。子どもたちが「授業が、わかりやすい」と回答していることと関連していると思われます。

【3 学校は、教育の目標や指針を学校だよりなどでわかりやすく伝えている】

3年生で90%、6年生で83%の保護者が肯定的な回答をしています。否定的な回答も6年生で15%ありました。保護者が集まる機会を持つことができなかつた分、発信方法や発信内容の工夫が必要だと感じました。

【4 学校は、保護者の願いや子どもの実態、地域性にもとづいた教育活動を行っている】

3年生で83%、6年生で81%の保護者が肯定的な回答をしています。一方、3年生で6%、6年生で9%が「わからない」と回答していて、6年生は昨年・一昨年よりも高いです。保護者参観の場が限られてしまったことも、大きな要因かと考えます。

【5 学校は、学習の状況を“あゆみ”などにより適切に評価している】

3年生で93%、6年生で91%の保護者が肯定的な回答をしています。今年度“あゆみ”の評価の観点が大きく変わりましたが、昨年までと同様に受け入れられているととらえています。

【6 学校は、子どものことについて面談等で保護者の相談に応じてくれる】

3年生で92%、6年生で87%の保護者が肯定的な回答をしています。今年度は、懇談会や個人面談など、教職員と保護者が対面で話し合う場をほとんど持つことができずでした。電話での対応が中心となりました。必要に応じて、随時面談も行っています。

【7 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる】

3年生で71%、6年生で81%の保護者が肯定的な回答をしています。子どもたちと同様の傾向が見られます。これからも“いじめ”については、未然防止と早期対応を心がけ、安心安全な富小を教職員全体でつくっていかねばならないと考えています。

【8 学校は、パトロールや防犯教室などを通して安全や防犯に取り組んでいる】

3年生で84%、6年生で94%の保護者が肯定的な回答をしています。子どもたちと同じ傾向が見られます。今年度はパトロールも縮小せざるを得ませんでした。防犯訓練や避難訓練だけでなく、一人ひとりが危険回避のする方法など、日常的な安全教育の充実も必要だと感じています。

【9 学校は、学校・学年だより、ホームページなどを使って情報の発信に努めている】

3年生で90%、6年生で94%の保護者が肯定的な回答をしています。昨年・一昨年とほぼ同じ数字であり、色々な情報を見ていただけているととらえています。

◎学校評議員のみなさまより

5名の学校評議員のみなさまにも、アンケートに答えていただきました。回答は、Aよくあてはまる・Bだいたいあてはまる・Cあまりあてはまらない・Dあてはまらない・Eわからないの5段階評価です。AとBは肯定的な回答、CとDは肯定的でない回答ととらえました。今年度は、学校行事の縮小で、子どもたちの様子を見ていただける機会が極端に少なかったため、答えられる範囲内で答えていただきました。

- 1 子どもたちは、楽しく学校に通っているように思われますか。
- 2 (授業をご覧になって) 学校はわかりやすい授業をめざして努力していると思われますか。
- 3 学校は、教育の目標や指針を学校だよりなどでわかりやすく伝えていると思われますか。
- 4 学校は、保護者の願いや子どもたちの実態、地域性にもとづいた教育活動を行っていると思われますか。
- 5 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思われますか。
- 6 学校は、パトロールや防犯教室など通して安全や防犯に取り組んでいると思われますか。
- 7 学校は、学校・学年便り、ホームページなどを使って情報の発信に努めていると思われますか。

今年度は、学校に来ていただく機会が年間通して限られてしまいました。その中でも、「わからない」を除いては、どの問いでも肯定的な回答をいただくことができました。アンケート結果を基に、学校評議員会で話しました。

コロナ禍で子どもたちのストレス増加に伴い、いじめが発生していないかという意見がありました。いじめについてのとらえが、保護者間、子ども間でも違うので、トラブルの扱い方によっては、かえって子どもたちの心を傷つけてしまうことも話題になりました。

また、校内で新型コロナウイルス感染者が出た場合の情報発信方法・内容についても話が出ました。学校での感染状況が地域に知らされない(公表できない)ための不安、検査不要と判定されても安心できないことなど、情報の取り扱いの難しさが話されました。

家庭や地域での子どもたちは、臨時休校を通して、学校があって友だちとつながることの喜びを改めて自覚できたのではないかという意見もありました。

◎まとめとして

コロナ禍で子どもたちが楽しみにしていた学校行事は大きく減ってしまいましたが、可能な範囲でできることをした結果として、楽しく学校生活を送ることができた子どもたちが多かったのではないかと捉えています。子どもたちが主体的に関わることができたことも大きな要因だと考えています。行事や活動を計画し、取り組む過程も含めた満足度が、肯定的な回答を押し上げたかと捉えています。

この1年間、学校も家庭でも新しい生活様式が推奨され、子どもたちにも多くのストレスがかかったことと思います。いじめにつながる行動については、学級担任だけでなく学年・児童支援担当教諭などチームで対応してきましたが、アンケート結果を見る限り、十分とは言えず、来年度以降も課題として残りました。いじめのない学校づくりに向けての取り組みは、来年度も引き続き重点事項として取り組まなければいけないと考えています。

学校内外の安全確保については、不審者情報等、情報が入り次第、警察とも連携をとり、保護者向け連絡メールで情報を流してきました。今年度は、地域のパトロール活動も十分に行えず、おはようボランティアの方々による子どもたちの登下校時の見守りやPTAの旗振りも、できる範囲でお願いをしました。今後も、警察を含め情報共有しながら、子どもたちの安全を確保していきます。

感染症対応については、市教委・保健所と連絡を密に取りながら、対応してきました。人権に配慮したため限られた情報しか示すことができず、かえって不安をあおってしまった面もあったかと思えます。ご心配をおかけした点が、今後の課題として残りました。感染症防止対策として、学校では、レバー式蛇口、オートディスペンサー、アクリルボードなど環境整備を進めてきました。感染防止については、各家庭との連携が不可欠です。保護者のみなさまのご協力をお願いいたします。

2ヶ月の臨時休校から始まった1年間は違う1年間でした。感染症拡大防止対策のため地域や学校評議員のみなさまだけでなく保護者のみなさまに対しても、子どもたちの学校生活を参観する機会も持つことが難しい1年でした。担任と保護者との共通理解が、十分でなかった点も多かったのではないかととらえています。

新年度になったら、急に全てのことが一昨年までのように戻るとは考えられないのが現状です。今後も感染症対策をとりながら、今、できることを進めていき、少しずつ元に戻していきたいと考えています。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

